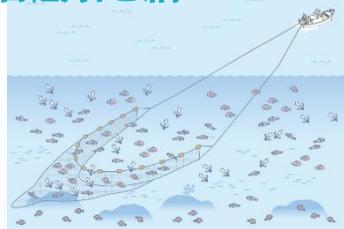


北海道における主な漁業種類

沖合底引き網



海底に袋状の網を降ろしてひき、海底付近にいる魚を獲る漁法です。すけとうだら、ほっけなどがこの漁法で多く獲られています。

主な漁場: 宗谷、オホーツク、釧路、後志、胆振

2018年の北海道の漁獲量: 146,963t

全国に対する北海道のシェア: 69%

前方の送水ホースで噴流により掘り起こした貝を、後方の噴流により鉄などで作った枠に取り付けた袋状の桁網(けたあみ)へ送り込み、ほたてがいやほっきがいを獲る漁法です。

主な漁場: 宗谷、オホーツク、釧路、胆振

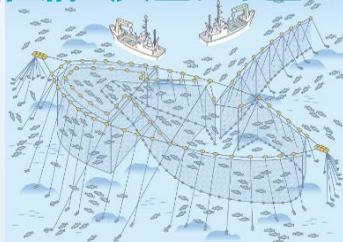
2018年の北海道の漁獲量: 314,325t

全国に対する北海道のシェア: 82%

小型底びき網 (桁網)



定置網 (大型、小型、さけ)



魚の通り道に魚を誘い込む網(垣網)と袋のような網(身網)を仕掛けて魚を獲ります。主にさけ・ますの他ほっけ・まいわし等がこの漁法で多く獲られています。

主な漁場: オホーツク、根室、渡島

2018年の北海道の漁獲量: 135,778t

全国に対する北海道のシェア: 34%

光に集まるさんまの習性を利用した漁法で、照明灯(集魚灯)を照らして魚が集まったら集魚灯を消し、反対側の誘導灯を点けて網の中に魚が移動したところで網を上げます。

主な漁場: 釧路、根室

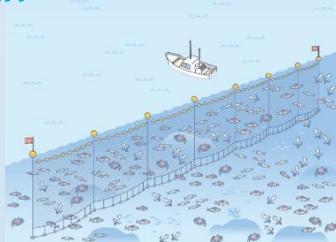
2018年の北海道の漁獲量: 61,039t

全国に対する北海道のシェア: 47%

さんま棒受網



刺網



魚の通り道に帯状の網を仕掛け、その網に魚が刺さったようになることから「刺網」と呼ばれます。主にすけとうだら、かれい等を獲ります。

主な漁場: オホーツク、根室、渡島

2018年の北海道の漁獲量: 88,584t

全国に対する北海道のシェア: 69%

光に集まるいかの習性を利用した漁法で、自動いか釣機からいか針(疑似餌)を海中に下ろし、引き上げる時に釣る漁法です。

主な漁場: 渡島

2018年の北海道の漁獲量: 10,466t

全国に対する北海道のシェア: 25%

いか釣

